

安養市との交流概要



平成 30 年 10 月

小牧市

1. 安養市との交流の経緯

1979年（昭和54年）に小牧地区日韓親善協会が発足し、安養市の韓日親善協会や安養市議会との交流が始まった。その後、両市の親善協会が主体となり、婦人交流や児童交流などが行われ、1986年（昭和61年）には韓国で両市の日韓・韓日親善協会の姉妹結縁調印式が行われた。また、翌年には小牧青年会議所及び東安養青年会議所の姉妹結縁の調印が行われるなど、民間レベルでの交流がますます活発となった。その後も、スポーツ交流や両市議会の交流、両市職員のサッカー交流などを経て平成10年には両市の正式な交流として、児童相互交流事業が開始され、現在に至っている。

2. 安養市の概要

（1）位置

大韓民国京畿道の中央に位置し、首都ソウルの南西に位置している。空の玄関である仁川国際空港からは自動車ですら約1時間の距離にある。

（2）面積

約58.5k㎡（小牧市の約93%）

（3）人口

約60万人（小牧市の約4倍）

（4）概要

安養という名は、高麗の太祖王建によって創建された安養寺（10世紀）に由来し、仏教における極楽浄土の理想郷を意味する。

現在の安養市が成立したのは1973年（昭和48年）で、市内には地下鉄2路線が走り、高速道路も通じた交通の利便性が高い都市である。首都近郊のベッドタウンとして、市の中心部には高層マンションが立ち並び、郊外には軽工業産業の各種企業が林立する。

（5）公共施設等

小学校41校、中学校24校、高等学校21校、大学5校



3. 小牧市と安養市の交流経緯

年	月	訪問(小牧市→安養市)関連	来訪(安養市→小牧市)関連
'79年 (S54)	12月	小牧地区日韓親善協会発足	
'85年 (S60)	10月		小牧市制30周年記念式典へ4人(韓日親善協会会長等)訪日
'86年 (S61)	4月	小牧地区日韓親善協会が安養市韓日親善協会と姉妹結縁の調印	
'87年 (S62)	9月	小牧と東安養の青年会議所が姉妹結縁の調印	
'92年 (H4)	11月		安養市企画課行政研修3人訪日
'93年 (H5)	10月		安養市韓日親善協会(正副会長、市議長)が小牧市民まつり視察
'95年 (H7)	11月	小牧市職員サッカー交流の折市職19人、協会役員4人訪韓	
'96年 (H8)	5月		安養市職員サッカー交流の折市職14人、協会役員等26人訪日
'98年 (H10)	7月	収入役、市議、日韓親善協会副会長、教諭2人、市職、小学生32人の計38人が訪韓、ホームステイ	
児童交流開始	8月		安養市職員、韓日親善協会役員、教師、通訳、小学生32人の計38名が訪日、ホームステイ
'99年 (H11)	11月		安養市榎市長等15人訪日
'00年 (H12)	8月	小牧市長、市議等14人訪韓	
'13年 (H25)	10月	安養市制40周年記念式典へ小牧市長等14人訪韓	
'15年 (H27)	5月		小牧市制60周年記念式典へ安養市李市長等59人訪日
以下、児童交流(7月～8月)について			
'99年(H11)	児童相互交流(市内小学6年生16人参加)		
'00年(H12)	児童相互交流(市内小学6年生16人参加) 9月 小牧市長 安養市訪問		
'01年(H13)	教科書問題(竹島関連)により児童交流中止		
'02年(H14)	児童相互交流(市内小学6年生16人参加)		
'03年(H15)	応募者少数のため児童交流中止 ※同年SARS流行		
'04年(H16)	児童相互交流(市内小学6年生17人参加)		
'05年(H17)	教科書問題(竹島関連)により児童交流中止		
'06年(H18)	児童相互交流(小学6年生12人)		
'07年(H19)	児童相互交流(小学6年生7人)		
'08年(H20)	児童交流(小学5、6年生15人参加) ※教科書問題により安養市児童の来日中止		
'09年(H21)	新型インフルエンザにより児童交流中止		
'10年(H22)	児童相互交流(小学5、6年生10人)		
'11年(H23)	東日本大震災により児童交流中止		
'12年(H24)	児童相互交流(小学5、6年生10人)		

‘13年(H25)	児童相互交流（小学5、6年生7人）
‘14年(H26)	児童相互交流（小学5、6年生8人）
‘15年(H27)	中東呼吸器症候群により児童交流中止
‘16年(H28)	児童相互交流（小学5、6年生10人）
‘17年(H29)	平和の少女像問題及び国際情勢の緊迫化により事業中止
‘18年(H30)	平和の少女像問題及び国際情勢の緊迫した状況の継続により事業中止

※ 児童相互交流事業

小牧市小学生と安養市小学生が夏休み期間に（平成28年度は3泊4日）、相互に訪問し合いホームステイを行う。日韓親善協会が主体で実施した安養市との交流において、平成10年度より小牧市主催で毎年実施するようになった交流事業の一つである。

4. 民間交流

○ 小牧地区韓日親善協会

昭和54年に「日韓両国民の理解と親睦を深め、両国の平和と繁栄に寄与する」ことを目的に発足。昭和61年には安養市韓日親善協会との姉妹結縁に調印し、現在まで相互に訪問するなど、小牧市内において安養市との交流を支える民間団体である。

○ 学校法人尾関学園誉高等学校

安養市内の学校と姉妹提携（海外研修の派遣、受入れなど）

- ・養明高等学校
- ・養明女子高等学校

5. 安養市のシンボルマークいろいろ



【安養市章】

平和と市民の安定した生活、民族の純潔を象徴し、四方に伸びて行く希望に満ちた発展、文化的交流や太陽市民としての安養市民を象徴する。



【ブランドマーク】

先進産業 (Advance)、文化芸術 (Art)、快適な環境 (Amenity)、いずれにおいても最高の都市を目指す「一番住みたい都市、一歩先行く都市」を意味し、安養 (Anyang) のイニシャル「A」と「Advance、Art、Amenity」トリプル A を表現。

サブスローガン：Advance、Art、Amenity



【マスコット：ポドンイ】

安養を象徴するぶどう（* 訳注：ポド）を象徴。

市民に親しみやすいマスコット。